

**JBL**

HARMAN

# TUNER FM

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。

 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

 分解してはいけないことを示す記号です。

 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。

 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

 触れてはいけないことを示す記号です。

 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

### 警告

 **ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。**  
万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。

 **本機の内部に水などがいった場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。**  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 **付属品以外の電源コードは使用しない。**  
火災の原因になります。

 **本機の内部に異物を入れない。**  
万一、本機の内部に異物が入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検をご依頼ください。

 **付属品のACアダプタを他の機器に転用しない。**  
火災の原因になります。

 **船舶などの直流（DC）電源には接続しない。**  
火災の原因になります。

 **電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。**  
引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

 **電源コードを傷つかけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。**  
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

 **分解や改造をしない。**  
感電の原因になります。

 **電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。**  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 **調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **タコ足配線しない。**  
発熱により火災・感電の原因になります。

 **直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。**  
キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になります。

 **テーブルタップ（延長コード）を使用しない。**  
発熱により火災・感電の原因になります。

 **オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。**  
指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

 **雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。**  
感電の原因になります。

 **音が歪んだ状態で長時間使用しない。**  
スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

 **電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。**  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

 **煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く。**  
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。**  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 **煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く。**  
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

### 注意

 **濡れた手でコンセントを抜き差ししない。**  
感電の原因になります。

 **ほこりや湿気の多い場所に設置しない。**  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

 **長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。**  
火災・感電の原因になります。

 **不安定な場所や振動する場所に設置しない。**  
本機が落下や転倒して、けがの原因となります。

 **ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。**  
電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

 **移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。**  
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

 **ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。**  
ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

 **薬物厳禁**  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

 **ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。**  
ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

 **薬物厳禁**  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

 **ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。**  
ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

 **薬物厳禁**  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

### 電池

### 電池についてのご注意

 **電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。**  
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

• 液が漏れたとき  
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。  
乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

• 液が目に入ったとき  
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

• 液が体や衣服についたとき  
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

 **電池について以下のご注意です。**  
本製品はリチウム電池を使用しています。リチウム電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。

• 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。

• 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。

• 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

• 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。

• 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

### 表示言語について

本機の表示窓に表示されるメッセージなどは、日本語の他、英語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、中国語（簡体）、スペイン語およびフランス語の7か国語での表示が可能です。  
お買い上げ時の表示言語は日本語です。  
この取扱説明書では、日本語表示を使用して説明しています。

### Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。

以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

 **注意**  
本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。  
• 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。  
• 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

#### 安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

#### ご注意くださいきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。  
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

#### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

#### 周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される与干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせ下さい。



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

### ワイドFM放送について

本機は、FMの90MHz以上の周波数を受信できる、ワイドFMに対応しています。

ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送エリアにおいて、難聴対策や災害対策のために、新たにFM放送用として使用可能とした周波数を加えたFM放送用の周波数（76.1～95MHz）によりAM放送の放送番組を放送するものです。

FM放送はAM放送と比べて比較的狭い地域を対象としており、お使いの地域によって受信できる放送局は異なります。

本機が受信できるワイドFM放送局は、2018年5月時点で放送開始済みの放送局、および一部の放送開始予定局です。下記の一覧表をご確認ください。

放送開始時期や局名などの最新情報は総務省のWebページでご確認ください。

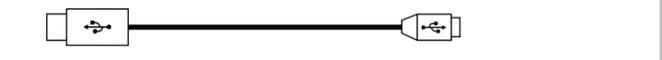
[http://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ictseisaku/housou\\_suishin/fm-seibi.html](http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/fm-seibi.html)

県名	周波数 (MHz)	放送局名	県名	周波数 (MHz)	放送局名
北海道	91.5	北海道放送	福井県	94.6	福井放送
北海道	90.4	STVラジオ	滋賀県・京都府	94.9	京都放送
青森県	91.7	青森放送	近畿広域	93.3	朝日放送
岩手県	90.6	IBC岩手放送	近畿広域	90.6	毎日放送
秋田県	90.1	秋田放送	近畿広域	91.9	大阪放送
宮城県	93.5	東北放送	和歌山県	94.2	和歌山放送
山形県	92.4	山形放送	兵庫県	91.1	ラジオ関西
福島県	90.8	ラジオ福島	鳥取県・島根県	92.2	山陰放送
茨城県	94.6	茨城放送	岡山県	91.4	山陽放送
栃木県	94.1	栃木放送	広島県	94.6	中国放送
関東広域	91.6	文化放送	山口県	92.3	山口放送
関東広域	90.5	TBSラジオ	徳島県	93.0	四国放送
関東広域	93.0	ニッポン放送	愛媛県	91.7	南海放送
長野県	92.2	信越放送	福岡県	91.0	RKB毎日放送
山梨県	90.9	山梨放送	福岡県	90.2	九州朝日放送
静岡県	93.9	静岡放送	佐賀県・長崎県	92.6	長崎放送
岐阜県	90.4	岐阜放送	大分県	93.3	大分放送
中京広域	93.7	CBCラジオ	熊本県	91.4	熊本放送
中京広域	92.9	東海ラジオ放送	宮崎県	90.4	宮崎放送
新潟県	92.7	新潟放送	鹿児島県	92.8	南日本放送
富山県	90.2	北日本放送	沖縄県	92.1	琉球放送
石川県	94.0	北陸放送	沖縄県	93.1	ラジオ沖縄

### 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

USBケーブル（電源接続用）



ACアダプター



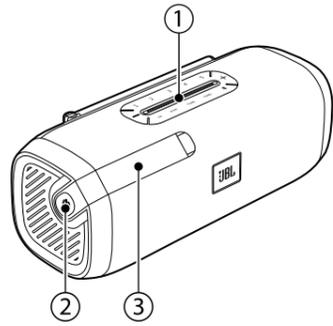
日本語取扱説明書（本紙）

多言語取扱説明書

保証書（日本国内用）

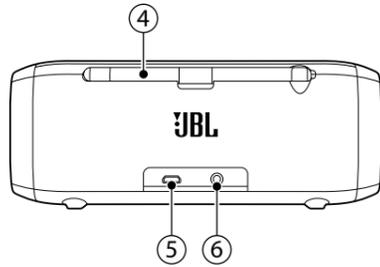
## 各部の名称とはたらき

### ▶ 前面 / 上面 / 左側面



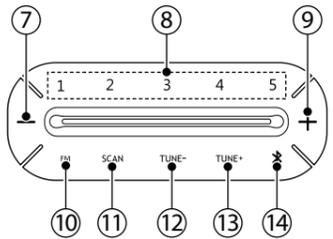
- ① ボタン面
- ② 電源ボタン (⏻)  
本機の電源を入れる / 切るときに押します。
- ③ 表示窓  
本機の現在のモードや内蔵電池の充電状態などの情報を表示します。

### ▶ 背面



- ④ FM ロッドアンテナ  
FM 放送を受信中は、アンテナを伸ばして、受信状態がもっとも良くなるように向きと角度を調節します。
- ⑤ USB 端子  
付属の USB ケーブルを使用して AC 電源 (コンセント) に接続します。
- ⑥ オーディオ入力端子  
3.5mm ステレオミニジャックです。市販の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使用して PC などの音源機器を接続することができます。(本機の再生音はモノラルになります。)

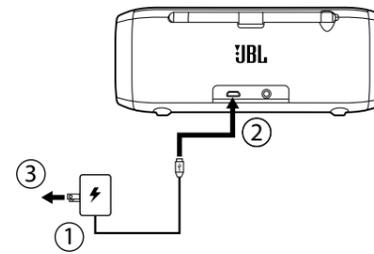
### ▶ ボタン面



- ⑦ 音量-ボタン  
音量を下げるときに押します。
- ⑧ プリセットボタン (1 ~ 5)  
FM 放送局をプリセットします。ボタン 1 ~ 5 まで、最大 5 局をプリセットすることができます。
- ⑨ 音量+ボタン  
音量を上げるときに押します。
- ⑩ FM ボタン  
FM 放送受信モードに切り替えるときに押します。
- ⑪ SCAN ボタン  
FM 放送局のスカンを開始するときに押します。
- ⑫ TUNE - ボタン  
マニュアルチューニングするときに押します。
- ⑬ TUNE + ボタン  
マニュアルチューニングするときに押します。
- ⑭ Bluetooth ボタン (📶)  
Bluetooth 対応機器とペアリングするときに使用します。

## コンセントに接続する

付属の USB ケーブルと AC アダプターを使用して、本機を AC 電源 (コンセント) に接続します。



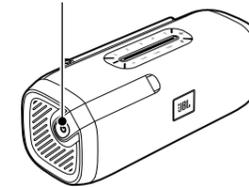
- ① 付属の USB ケーブルを、付属の AC アダプターに接続する。
- ② USB ケーブルのもう一方の端子を本機背面の USB 端子に接続する。
- ③ AC アダプターのプラグを起こしてコンセントに接続する。  
本機をコンセントに接続すると、内蔵電池が充電されます。  
表示窓に充電インジケータ (🔋: アニメーション) が表示され、充電中であることを示します。

## 電源を入れる / 切る

### ▶ 電源を入れる

電源ボタン (⏻) を押します。

電源ボタン (⏻)



電源を入れると、本機は以下のように動作します。

1. 表示窓に内蔵電池の残量が表示される。  
例: 残量が満充電の 70% のときは、[バッテリー 70%] \*1 と表示されます。
2. 電子音が鳴り、本機がオンになる。
3. 現在の動作モードが表示される。  
例: FM 受信モードのときは [FM 80.00MHz] のように、受信中の局の周波数が表示されます。

\*1 残量は、10% 刻みで表示されます。満充電のときは [バッテリー 100%] と表示されます。

### ▶ 電源を切る

表示窓に何か表示されているときに電源ボタン (⏻) を押します。電子音が鳴り、本機がオフになります。

コンセントに接続中は、充電中インジケータ (🔋) は表示されたままになります。

### ▶ コンセントから外して使用する

内蔵電池の残量が十分ある場合は、コンセントから外して使用できます。充電中インジケータは表示されなくなります。この場合、時折コンセントに接続して残量を確認し、残量が少なくなってきたら充電してください。

## 表示言語を切り替える

表示窓に表示されるメッセージなどは、お買い上げ時は日本語に設定されています。

表示言語は、日本語の他、英語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、中国語 (簡体)、スペイン語およびフランス語の 7 か国語での表示が可能です。

### ご注意

表示言語を切り替えると、音量や FM 放送局のプリセットなどの設定がリセットされます。(プリセット情報はクリアされません。) そのため、次に FM の受信などを始めると思わぬ音量になることがあります。必要がない限り、言語表示は切り替えずに使用することをお勧めします。

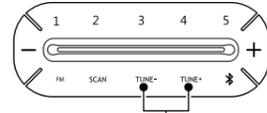
表示言語は、以下の手順で切り替えます。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② Bluetooth ボタン (📶) と音量+ボタンを同時に 5 秒以上押し続ける。  
表示窓に [再設定] と表示された後、電子音が鳴り、次の言語の候補である [English] (英語) が表示されます。
- ③ TUNE + / TUNE - ボタンを押して希望の言語を表示させる。  
TUNE + ボタンを押すごとに、[English] (英語) → [日本語] → [Portuguese(brasil)] (ブラジルポルトガル語) → [Русский] (ロシア語) → [簡体中文] (中国語 (簡体)) → [Español] (スペイン語) → [Français] (フランス語) の順に切り替わります。TUNE - ボタンを押すと、この逆の順に切り替わります。
- ④ 希望の言語を表示して SCAN ボタンを押す。  
言語が切り替わるとともに、FM 放送局のスカンが始まります。スカンを停止するには、もう一度 SCAN ボタンを押します。

## FM 放送を聞く

### ▶ マニュアルチューニング

TUNE + / TUNE - ボタンを使用して希望の放送局を受信します。

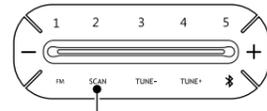


TUNE + / TUNE - ボタン

- ① 本機の電源を入れる。  
FM 受信モードになります。
- ② TUNE + / TUNE - ボタンを押す。  
TUNE+ ボタンを押すごとに 0.10MHz 単位で周波数が大きくなり、TUNE - ボタンを押すごとに 0.10MHz 単位で小さくなります。76.10MHz ~ 95.00MHz の範囲で切り替えることができます。希望の放送局を受信するまで操作してください。

### ▶ スキャンする

SCAN ボタンで受信周波数を自動的に上げていきます(スキャン)。放送局を受信するとスキャンが停止します。

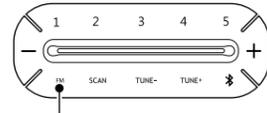


SCAN ボタン

- ① SCAN ボタンを押す。  
現在の周波数からより大きい方向にスキャンが始まります。95.00MHz に達すると再び 76.10MHz に戻りスキャンが継続します。  
電波状態が良好な放送局（本機が受信可能な放送局）が見つかるまでスキャンが停止します。

### ▶ 受信できないときは

誤操作により Bluetooth のペアリング設定状態に入ったときなどに FM 受信モードに戻すには、FM ボタンを押します。

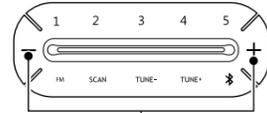


FM ボタン

ただし、オーディオ入力端子にオーディオケーブルを接続しているときは FM 受信モードに戻すことはできません。  
(表示窓に [トリガー信号に対して外部入力を外す] というメッセージが右から左にスクロールして表示されます。FM 受信モードに戻すにはオーディオケーブルを抜いてください。)

### ▶ 音量を調節する

音量+ / 音量- ボタンで音量を調節してください。



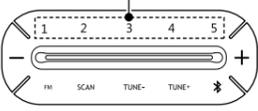
音量+ / 音量- ボタン

音量- ボタンでミュート（無音）状態まで音量を下げると、ミュートインジケータ（）が表示されます。

## 放送局をプリセットする

本機のプリセットボタンによく聞く放送局をプリセットしておくと、プリセットしておいたボタンを押すだけでその放送局を受信することができます。プリセットボタンは 1 から 5 まであり、最大 5 局をプリセットできます。

プリセットボタン (1 ~ 5)



- ① プリセットしたい放送局を受信する。
- ② 放送局をプリセットするボタン (1 ~ 5 のいずれか) を、2 秒以上押し続ける。  
例：プリセットボタン 1 に 80.00MHz の放送局をプリセットした場合  
表示窓に [P1 保存済み 80.00MHz] というメッセージが右から左にスクロールして表示された後、[FM P1 80.00MHz] という表示に切り替わります。

上記の手順でプリセット済みのボタンに別の放送局をプリセットし直すことができます。

## Bluetooth 接続で使用する

Bluetooth 機能を使って、スマートホンなどの Bluetooth 対応デバイスの再生音を本機でワイヤレス再生することができます。そのためには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要です。

### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② Bluetooth ボタン (📶) を、表示窓に [BT ペアリング] と表示されるまで押し続ける。  
表示されたらボタンを離します。ペアリング設定状態になります。
- ③ デバイス側でペアリングを行い、登録 / 接続する。  
ペアリングが完了すると表示窓に [BT 接続済み] と表示されます。
- ④ 接続したデバイスで再生を始める。  
本機から再生音が聞こえます。

#### iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。  
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。  
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「JBL Tuner FM」を選択する。  
ペアリングが完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



本機の表示窓には、[BT 接続済み] と表示されます。

#### その他の機器の場合：

- ① 接続する機器をペアリング設定状態にする。  
機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。お使いの機器の取扱説明書も併せてご覧ください。  
パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。  
機器によっては、接続を確認するメッセージが表示されます。
- ② 機器側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。  
ペアリングが完了すると表示窓に [BT 接続済み] と表示されます。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで接続が完了します。

### ▶ Bluetooth 再生を行う

必要に応じて、デバイス側で本機を再生機器として設定してください。Bluetooth 接続したデバイスで再生を始めると、本機から再生音が聞こえます。

#### 再生の制御

音量の調節、再生の一時停止や再開、次の曲へのスキップや前の曲へのバックスキップなど、再生の制御は接続したデバイス側で行ってください。

• 音量の調節は本機の音量+ / 音量- ボタンでも行うことができます。

#### 一時的に FM 放送受信に切り替える

Bluetooth 接続したデバイスでの再生中、FM ボタンやプリセットボタンを押すと FM 放送の受信に切り替わります。

デバイス側は再生の一時停止状態になります。

Bluetooth デバイスの再生に戻すには、本機の Bluetooth ボタン

(📶) を押します。

表示窓に [BT 接続済み] と表示されたことを確認し、デバイス側で再生を始めてください。

### ▶ Bluetooth 接続を解除する

#### iPhone/iPod/iPad で解除する

「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オン」から「オフ」にします。

#### その他の機器で解除する

接続している機器を Bluetooth 設定状態にし、Bluetooth を「オフ」にします。

## オーディオ機器の再生音を聞く

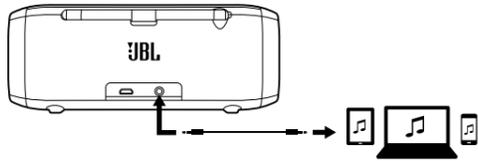
市販の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使用してオーディオ機器や PC の音声出力端子（3.5mm ステレオミニジャック）に接続し、音声を再生することができます。

### ご注意

オーディオ機器や PC の音量は低めに設定して接続してください。再生を始めると、思わぬ大音量となることがあります。

### ▶ 接続

オーディオケーブルの一方のプラグを本機のオーディオ入力端子に、もう一方をオーディオ機器や PC の音声出力端子に接続します。



### ▶ 再生

- ① 本機の電源を入れる。  
表示窓に内蔵電池の残量が表示された後、[AUX 外部入力モード] と表示されます。
- ② 接続したオーディオ機器 / PC で再生を始める。

音量の調節、再生の一時停止や再開、次の曲へのスキップや前の曲へのバックスキップなど、再生の制御は接続したデバイス側で行ってください。

- 音量の調節は本機の音量+ / 音量- ボタンでも行うことができます。

本機のオーディオ入力端子にオーディオケーブルを接続している状態では、FM 放送の受信や Bluetooth デバイスの再生に切り替えることはできません。

切り替えようとする、表示窓に [トリガー信号に対して外部入力を外す] というメッセージが右から左にスクロールして表示されま

## トラブルシューティング

症状	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	内蔵電池の残量がなくなっている場合は、本機をコンセントに接続して充電してからお使いください。
電源は入るが、音が出ない。	FM 放送の受信中は、音量を上げてください。 Bluetooth デバイスの再生中は、デバイスまたは本機で音量を上げてください。 オーディオ入力端子に接続したオーディオ機器・PC の再生中は、機器または本機側で音量を上げてください。
音が歪む。	音量が上がり過ぎている場合は音量を下げてください。
FM 放送受信中、サーという音がする。	電波が弱いのが原因です。アンテナを伸ばしきった状態で方向・角度を調節してみてください。
FM 放送受信中、雑音が入る。	外部から雑音を拾っているのが原因です。アンテナを伸ばしきった状態で方向・角度を調節したり、テレビや蛍光灯などの電気製品から本機を離してみてください。
Bluetooth でペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と Bluetooth 接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。再生したい機器を再接続する場合は、現在ペアリングされている Bluetooth 機器をオフにしてください。

## 主な仕様

使用ユニット	44.5mm 径フルレンジスピーカー x 1
周波数特性	85Hz ~ 20kHz
FM 受信周波数帯域	76.10MHz - 95.00MHz
入力	Bluetooth、3.5mm ステレオミニ入力
Bluetooth	Bluetooth4.1
対応プロファイル	A2DP V1.2、AVRCP V1.5
伝送距離	Class2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
定格出力	5W
S/N 比	80dB 以上
電源	AC アダプター (100V ~ 240V、50/60Hz)
電池	リチウムイオン充電電池
充電時間*	約 3.5 時間
連続使用時間 (内蔵電池で動作時) *	約 8 時間
外形寸法	幅 165mm x 高さ 66mm x 奥行 66mm
質量	約 450g

\* 電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。充電・再生時間は使用環境によって異なります。  
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

### ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

### ▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

### ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

### ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30

### ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。  
携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2018 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

XXXXXXXX